

古墳時代

特別展 国史跡

鬼ノ岩屋・実相寺古墳群展

別府



6世紀後半から7世紀初頭にかけての別府市では、別府大学周辺を中心に半径1kmの範囲内に大型の古墳が多く築造されます。これらの古墳はまとまるように造られ、北側は「鬼ノ岩屋古墳群」、南側は「実相寺古墳群」と呼ばれています。この2つの古墳群は「畿内の」「九州的」「装飾壁画」「巨石墳」など様々なキーワードで語られ、大分県の古墳時代後期を語るうえで外すことのできない重要な古墳群となっており、2017年に「鬼ノ岩屋・実相寺古墳群」として国指定史跡に指定されました。

今回これらの古墳群に焦点をあて、古墳時代の別府の姿を紹介すべく、出土した遺物や写真パネルを展示する特別展を開催いたします。

令和4年

10/12 (水) ~ 11/11 (金)

※日曜祝日休館

展示会場 別府大学 佐藤義詮記念館 ギャラリーホール

開催時間 平日 9:00 ~ 16:00

土曜日 9:00 ~ 12:00

入場料無料



主催：別府市教育委員会・別府大学
問合せ先：0977-21-1587 (別府市社会教育課)

駐車場に限りがあるため、公共交通機関の利用にご協力ください。